

公益財団法人 8020 推進財団
平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

佐世保市「歯の健康優良高齢者コンテスト」参加者を対象としたアンケート調査

2. 申請者名：一般社団法人 佐世保市歯科医師会

代表者 七熊 正

担当者 豊屋 文人

3. 実施組織：一般社団法人 佐世保市歯科医師会

4. 事業の概要：

佐世保市歯科医師会では毎年、佐世保市と共催で「歯の健康優良高齢者コンテスト」を実施している。8020 達成者を応募資格とし、診査の上、優良者については表彰を行っている。平成 6 年度からはじまり、今年度で節目の 20 回を迎え、これまでの応募者は、のべ約 150 名となった。そこで、今回は、「歯の健康優良高齢者コンテスト」参加者における現在の日常生活習慣、全身の健康状態、および口腔内状態などについて改めて調査を実施し、8020 達成者の現状を明らかにすることを目的とした調査を実施した。本調査の結果は、高齢期において多数の残存歯を有することが QOL の向上につながることを示すことにつながり、市民の歯科保健の意識向上に寄与できると考えられる。

5. 事業の内容：

本研究の対象者は、平成 17 年度から平成 25 年度までに行われた佐世保市「歯の健康優良高齢者コンテスト」に参加した 90 名とした。

平成 25 年度の参加者に対しては、コンテスト当日に聞き取りによる調査を行った。また、平成 17 年度から平成 24 年度のコンテスト参加者に対しては、郵送法にて、アンケート調査を行った。平成 25 年度のコンテスト参加者への聞き取り調査は、すべての参加者 18 名から回答を得た。また、平成 17 年度から平成 24 年度までのコンテスト参加者 72 名に対しては、平成 25 年 12 月に郵送し、翌年 1 月を締め切りとして回収を行い、46 名から回答を得た（回収率 63.9%）。

アンケートの質問項目は、回答者の属性、日常生活における健康習慣、自己申告による身長と体重、老研式活動能力指標、および GOHAI とした。なお GOHAI については、「咀嚼能力と QOL との関連」の研究の一環として特定非営利活動法人健康医療評価研究機構 から使用許可を得ている。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

8020 達成者の自覚的な健康感、国が行った調査結果と比較すると「とても良い」とした者の割合が大きく、「あまり良くない」とした者の割合が小さいことがわかった。また、良好な健康感を有する者、自立した生活機能を有する者、および口腔状態が良好であるほど、日常の生活機能が自立していることが示された。高齢期において自立した生活機能を維持するためには、良好な口腔内状態を保持することが重要であることが示唆された。

なお今回の調査結果は、歯科保健事業の基礎資料として広報することで、市民の歯科保健の向上に資することができると期待される。